



葉は枝先に集まって付く。



切れ込む葉。

区別のポイント

幼木の葉は2～5裂する。成木では菱形状広卵形または広卵形で切れ込まない。葉は枝先に集まって付く。樹皮は灰白色で滑らか。

形態 常緑小高木～高木。

分布 本州（関東地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 葉を、着ると姿が隠れる蓑に喩えた。

葉 **〈全体〉**長さ7～12 cm、幅3～8 cm。革質で顕著な3脈がある。
〈付き方〉互生。枝先に集まって付く。
〈葉柄〉2～12 cm。
〈基部〉広くさび形。
〈葉先〉短く尖る。
〈縁〉全縁で少し波打つ。

備考 樹皮の傷から出る樹液は、ウルシオールを含み黄漆に使われるという。

出典 1, 4, ※